

スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第20号 (7月17日発行)
文責 校長 高倉 満

8月6日平和学習

今年「高校生平和大使派遣委員会」に参加する約50の平和団体を募らせました。「核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名活動」の始まりです。発足の署名を集めようと考えていました。その頃、長崎の高校生は1万人くらいいるだろ



1998年5月、核拡散防止条約(NPT)に加盟していないインドとパキスタンが相次いで核実験を強行し、被爆地の市民は核拡散に危機感を募らせました。「核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名活動」(現在は「高校生平和大使派遣委員会」)に参加する約50の平和団体を募らせました。「核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名活動」の始まりです。発足の署名を集めようと考えていました。その頃、長崎の高校生は1万人くらいいるだろ

2001年1月、高校生平和大使募集をきっかけに集まった高校生たちは、核兵器廃絶を世界に訴えるために、未来を担う若者を平和の第2代継ぎにしようと決意しました。1998年から毎年、高校生平和大使が参加しました。2013年第16代高校生平和大使が参加しました。2014年には第17代高校生平和大使の代表が、民間として初めて軍縮会議本会議場でスピーチを行いました。また、2012年10月には、高校生平和大使の活動について、外務大臣感謝状が授与されました。高校生との交流など、6月の結団式から約1年間活動します。

初めて署名簿を国連に届けた直後の2001年9月11日、アメリカで同時多発テロが起きました。核兵器の廃絶と平和な世界の実現をめざす高校生1万人署名活動は、「戦争はいけない」という共通の願いを込めて、世界に発信する活動です。平和の在り方を考え、戦争や原爆が重要であることを学び、世界に貢献しようとする態度を育てていく活動なども楽しんでいます。この活動が生まれました。署名活動に「高校生1万人署名活動」が生まれました。

■ 平和標語を考えて、平和への気持ちが発信しては！

平和学習を通して「戦争の被害」「戦争の恐怖」をテーマに学ぶことも大切です。さらに大切なことは「平和の発信」です。平和の在り方を考え、戦争や原爆について正しく理解し、学習を深めて世界の平和に貢献しようとする態度を育てることも大切です。活動などもしつけたいと思います。全校集会や学年集会、学級で伝えていく活動なども楽しんでいます。

筑後地区大会の結果
ソフトボール部 優勝(県大会出場)
水泳部 男子総合優勝 女子総合3位

卓球大会出場分を紹介します

男子400mR優勝	400mMR優勝	女子400mR3位	400mR3位
原太君 100m背泳ぎ 2位		200m背泳ぎ 2位	
馬田君 100m平泳ぎ 5位		200m個人M 3位	
佐藤太郎君 1400m自由形 2位		1500m自由形 1位	
舎川小君 100m自由形 6位		馬田愛叶さん 平泳ぎ 100m 1位	200m 1位

